リラーク[®] DF

殺虫剤

農林水産省登録 第23135号 チオジカルブ水和剤 取虫剤分類 1A

性状 淡褐色水和性細粒及び微粒

成分 チオジカルブ(化管法1種)……80.0% [3,7,9,13-テトラメチル-5,11-ジオキサ] -2,8,14-トリチア-4,7,9,12-テトラアザーペンタデカ-3,12-ジエン-6,10-ジオン] 鉱物質微粉、界面活性剤等……20.0%

登録商標 第4256172号

500g入

登録 バイエル クロップサイエンス株式会社 東京都千代田区丸の内1-6-5

販売 エンバイロサイエンスジャパン株式会社 東京都千代田区大手町1-6-1



★ラベルをよく読む。記載以外には使用しない。小児の手の届く所には置かない

- ★使用残りの薬液が生じないよう調製し、使いきる
- ★空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する

リラーク® DF(チオジカルブ水和剤)

適用病害虫と使用方法

*印は本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
芝	スジキリヨトウ シバツトガ	500	0.1 <i>l</i> /m²	発生初期	5回	散布
		2,000~3,000	0.3~1ℓ/m²			
	タマナヤガ	1,000~2,000	0.5~1l/m²			
	シバオサゾウムシ成虫					
		500	0.25 <i>l</i> /m²			
	コガネムシ類幼虫	2,000	3ℓ/m²			
	ミミズ糞塚形成阻害		2l/m²			
	ケラ	1,000~2,000	1 <i>l</i> /m²			
さくら、ふう プラタナス けやき	アメリカシロヒトリ	2,000	200~ 700l/10a			

- ○石灰硫黄合剤、ボルドー液、ジチオカーバメート系薬剤及び銅水和 剤との混用はさける
- ベントグラスに対して希釈倍数500~1000倍で散布すると薬害を 生じるおそれがあるので、使用しない
- ○使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい

⚠ 安全使用上の注意

○桑葉にかからないようにする(蚕毒)



- ミツバチに対する注意 ● 巣箱及びその周辺にかからないようにする
 - ●関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める
- ○医薬用外劇物。取扱いに十分注意。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。使用中に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受ける
- ○眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける(刺激性)
- ○皮ふに付着しないように注意。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす(刺激性)



- ○散布時は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを 着用する
- ○作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・ うがいをして衣服を換える
- ○作業時の衣服等は他と分けて洗濯する
- ○かぶれやすい人は取扱いに十分注意
- ○街路、公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する

治 療 法……硫酸アトロピン製剤の投与が有効(動物実験で報告) 魚毒性等……河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意(甲殻類)。

散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さない。また、 空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に 処理する

保管……密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。 カギをかける。盗難・紛失の際は、警察に届け出る

- ●食べられません ●有効年月内に使用する
- ●体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取り扱い及び作業をしない
- ●火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める
- ●漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する
- ●移送取扱いは、ていねいに行う

JP80911912G

製 造 場 アグラフォーム社

同社工場 米国 ミズリー州 セントルイス MO63111 イースト クラウス ストリート 133

小分製造場 バイエルクロップサイエンス株式会社

防府工場 山口県防府市新田築地2061

最終有効年月(西暦下2桁)